

スリリングな岩場、展望を期待して
神楽山～菊花山

実施日 2013年2月23日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 中村 友子
 参加者 若村貴世子、若村勝昭、一柳昭、涌井良明、山崎富美恵、石附智江、中村友子、伊藤久雄、宇野輝代、岩崎陽子、徳山敬子、小名秀鋭 計12名
 費用 1,140円(高尾起算)
 タイム 猿橋駅(9:50)登山口(10:05)神楽山(10:55-11:00)御前山(11:20-12:00)沢井沢の頭直下(12:20)菊花山(1:10-1:30)金比羅宮(1:55)菊花山登山口(2:05)大月駅(2:10)

残雪があるのかと心配していたがほとんどなく、晴天に恵まれた。この所寒波が北日本を襲い、酸ヶ湯では積雪最高記録更新中であつたが、陽だまりを歩くと春はそこまで来ていそうな感じだった。



猿橋駅南口を出右折し、暫く国道を進むと左に曲がるよう標識があつたが先輩リーダーの過去の記憶からショートカット

し登山口に進んだ。今はその標識は外され畑の中を歩く感じだったが多分昔道があるのでしょう。

衣服調整を済ませ急坂を2度の立休憩を含め約1時間で尾根の丁字にぶつかり、左に5分で神楽山到着。



山頂はなだらかではあるが狭く、12人でいっぱい。アンテナを支えている針金が邪魔だった。先ほどの丁字まで戻り御前山まで進み

昼食とした。

大きな岩で成立つ山頂から南斜面は切り落ちゾクゾクする所である。青空に富士山が素晴らしい。

昼食後は尾根歩き。2つの小山の南側を巻き、沢井沢の頭直下を右折、菊花山に向かう。標識が小さいので見落とさない様に気を付け北斜面を下る。菊花山までは落葉樹、笹が多い所もあり冬季山行がお勧め。



本日3座目菊花山山頂は低いながらも360度の眺めが得られた。御前山からの尾根の先には

九鬼山が頭をのぞかせていた。ゆっくり堪能した後は今日一番の難所、急な道を降りる事になる。距離は短いもののかなりドキドキものである。

金比羅宮を過ぎると道は歩きやすくなり間もなく車道に出、大月駅までは約5分で到着し無事終了。

時間たっぷりの反省会が出来た。

皆様のご協力有難う御座いました。

(記・中村 友子)

(写真提供・涌井良明／伊藤久雄)

